

藤 淳  
関野幾生  
福田 正

作詞  
編曲

## 人生舟

ボディー ひろし  
クラウン・オーケストラ

一、おまえが心の 波止場なら  
俺は放浪う 人生舟

苦労しぶきの 明け暮れだけど  
愛の絆がある限り  
荒れた暮らしに まだ耐えられる

二、春にも咲かない 浮草は  
何を夢みて 生きている  
浮世波風 つらくはないが  
影を重ねて ついて来る  
おまえひとりが ふびんでならぬ

三、冷たい運命に さらされて  
明日はどこまで 流れ舟  
浮いて沈んで 浮き目はないが  
俺とおまえの 行く先を  
照らす灯りが しんから欲しい

(演奏時間 三分五六秒)

藤 淳  
関野幾生  
福田 正

作詞  
編曲

## 木屋町みれん

ボディー ひろし  
クラウン・オーケストラ

一、どんな過去でも 責めたりしない

罪は男の 僕にある  
あいつの涙を 含んだような  
灯りが悲しい 木屋町は  
するうわさも どぎれがち

二、たしか名前を 古都美と変えて  
地下のサロンに いたと言う  
不幸に染まつた 女だけれど  
幸せだつたら このままで  
夜の京都を離れたい

三、俺の気今まで 別れておいで  
なんで会わせる 顔がある  
水割りひとつも 飲めないやつの  
花街ぐらしが しのばれて  
面影にわびてる 高瀬川

(演奏時間 三分五一秒)